

天井よりも高く飛ばして楽しみました。

また、「木工クラフト」では、次々にユニークな作品が完成していました。

実施後のアンケートでは、「空飛ぶ種子は、子ども達とやってみたい」「木工クラフトの木を使って手作りした作品は暖かみが



種子模型を飛ばしている先生方

あって、とても気に入りました。「木工クラフトを手

作りクラブで二期には是非実践したい。」などの感想をいただきました。

今後、実施内容等に検討を加え、今回のような形で継続的に実施したいと考えています。



木工クラフト作製中



七月一三・二〇日、徳島県那賀町次郎笈の南斜面（鎗戸国有林一三五林班）において、南つるぎ地域活性化協議会が主催したシカ食害防護ネット及び看板設置の保全ボランティア活動「おひさんプロジェクト」が行われました。

一三日が二〇名、二〇日が一六名で、協議会構成員の徳島県南部総合県民局やNPO法人剣山クラブの会員の他に、協議会の呼びかけに応じた一般ボランティアの方々も参加していました。当署からはサポートス

タッフとして、森林技術指導官、地域林政調整官、総括森林整備官、木頭・海部首席森林官が参加しました。

一三日は、あいにくの悪天候となり、強風のため

ネットの設置及び看板の設置は断念し、道具、資材の運搬とネット支柱の設置作業をおこないました。現地はニホンジカによる食害が



ネット支柱の設置

進んでおり、ササ枯れが目立ち、シダ類等だけが残存する状態となっております。対策が急がれるため、再度日程を調整してネット張りを実施することになりました。

仕切り直しとなった翌週二〇日には、次郎笈山頂（一九三〇m）に看板の設置作業を実施しました。今まで設置されていた

看板は、雷に撃たれる等破損が激しく、また、標高が見直され、一九二九mから一九三〇mとなったこともあり更新したものです。先週と打って変わったの初夏のさわやかな空の下、作業終了後には新たに出来上がった看板を囲み全員で記念撮影を行いました。

南つるぎ地域活性化の協議
会及びボランティアの皆様



当署としては、「国民の森林」である国有林を安全に楽しんでいただくため、このような取り組みに引き続き積極的に参画していきたいと考えています。



七月二二日、徳島市の住吉・城東児童館で小学生など二一名を対象とした森林教室「写真立てづくり」を行いました。

始めに森林の大切さについて当署職員が、話をしました。小さい子どもが多いので、徳島の森林に住む動物の写真を見せながらクイズを交えたくさんの動物が森林に住んでいるのは、なぜかといったことや、徳島のツキノワグマについて話をしました。子ども達の中には既に徳島にツキノワグマがいることを知っている

子どもいましたが、ほとんどの子とも達は知らなかったようで、興味深そうに聞き入っていました。

その後、木工クラフトを実施しました。子ども達は思い思いの材料を手にとりて作品作りに取りかかりました。皆、写真立てのベ

スをすぐに作り終え、飾りのマスコットを何にするか、木の実をどれにするか悩んでいたようですが、時

間が進むにつれ、太い枝に大量のセミを作り飾り付けたり、見本のトンボを作っ

てみると、大胆な飾り付けをする子がいました。二

時間の木工教室の最後に全

員が自分だけのオリジナルの写真立てを持って記念写真に写り、皆さん嬉しそう

にしていました。

今回の森林教室は、都市部に住む子ども達にとつて森林や木材を身近に感じる事ができる良い機会になったことだと思います。

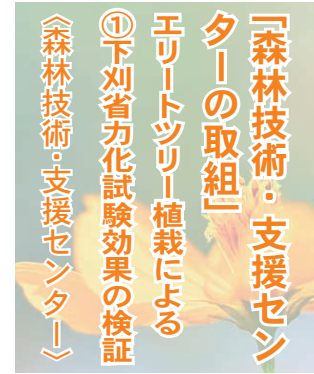


写真立て製作中

オリジナルの写真立て完成



木の実どれにしようかな？



エリートツリーとは

森林総合研究所林木育種センターが約六〇年にわたって研究開発を進めてきた、いわゆる第二世代の精英樹です。

第一世代の精英樹の中でも成長・形質が一段と優れた木を選抜して、人工的にコントロールしながら交配・選抜を繰り返すことで作り出された特別優秀な素性を持った苗木のことです。

この優秀な苗木の大きな特徴の一つとして挙げられるのは、格段の成長の早さ

で、九州ではスギ苗木で二年間に3m成長した実績があるとのこと。成長が早いことから以下のような育林コストの削減が期待されています。

- ・早期の樹幹うっ閉が期待できることから、植栽密度を下げられる。
- ・造林費用の四割前後を占める下刈り作業回数を半分に軽減することにも期待できる。

四国森林管理局では、平成二六年度に森林総合研究所林木育種センター関西育種場と連携して、高知中部森林管理署杉ノ熊山国有林と安芸森林管理署矢筈谷山国有林の造林地に、スギエリートツリー苗木と比較対象木としてスギ一般苗木を植栽した試験地を設定し、下刈りの省力化の可能性とシカ食害対策に資するためには、どの程度の期間が必要かについて検証して

加えて、ニホンジカ（以下シカ）の食害防止効果も期待できる。

シカは「ディアライン（シカ摂食線）」といわれる口の

の高さを超える木の先端の芽（頂芽）は食べることでできません。したがって、ディアラインに到達する期

間を短くできることでシカ食害対策に有効であると考

えられている。

- ・初期成長が早い苗木であり、下刈の刈高を高めにする

ことで、シカが寄りつき

【写真1】

高知中部森林管理署

【杉ノ熊山国有林試験地概要】

面積：0.56ha

標高：680～1,050m

方位：北西

傾斜：20℃～45℃



いくことにしています。

なお、造林地全体にはシカ防護ネットを施行して

【写真2】

安芸森林管理署

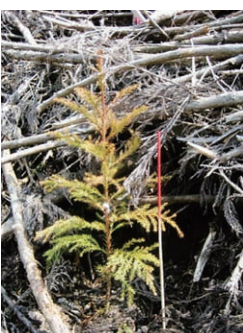
【矢筈谷山国有林試験地概要】

面積：0.59ha

標高：400～530m

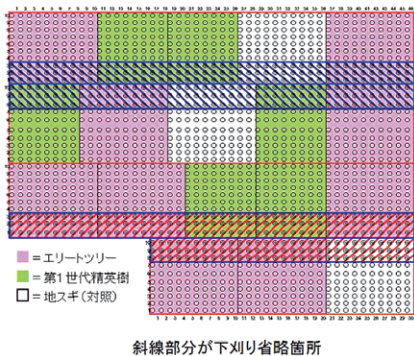
方位：南

傾斜：20℃～40℃



スギエリートツリー





左図で、ピンクがエリートツリー、緑が第一世代精英樹、白が対照用地スギです。そして、青い線で囲った区域のうち赤の斜線部が無下刈、青の斜線部が初期の一回か二回下刈りを実施その他の区域は、通常の下刈りを行い、比較試験を実施します。エリートツリーの優れた成長が、下刈回数抑制やシカ食害対策にどの程度貢献できるかについて検証することになっています。

おめでとうございます。

人事院が募集を行った、本年度の国家公務員健康週間の標語について、各府省の職員から応募のあった五、六五七点の中から、選考の結果、当局四万十森林管理署黒尊森林事務所の河野祐希氏の作品が見事に選出されました。

みんなで減らそう

心のストレス

みんなでつくろう

温かい職場

今後、本年度の国家公務員健康週間（平成二六年一〇月一日〜七日）にふさわしい標語として、平成二六年度国家公務員健康週間のポスターの紙面に掲載されることとなります。



黒尊森林事務所
河野祐希氏

事務所移転のお知らせ

〈ふれあい推進センター〉

四万十川森林ふれあい推進センターの事務所は、高知県四万十市西土佐に所在する市の総合庁舎内にありましたが、平成二七年度にこの総合庁舎を取り壊し跡地に、仮称「道の駅（西土佐）」を建築することから、現在の場所から愛媛県側へ約四km離れた旧西ヶ方小学校跡の建物内に事務所を移転することになり、九月から新しい事務所で業務を行います。

新しい住所等は次の通りです。

【住所】

〒七八七-一六〇二
高知県四万十市西土佐西ヶ方五八六番地二

【電話】

〇八八〇-三二一六〇三〇

【FAX】

〇八八〇-三二一六〇三一

